



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

美しい生活を求める願い

校長 小倉寛恒

百年に一度の経済危機であると識者は言う。アメリカの証券会社リーマンブラザーズの経営破綻に端を発した経済危機は、アメリカ国内に止まらず世界を席捲した感がある。我が国でも、不況感が俄に周辺に漂い、連日、非正規雇用の人達の哀感を伝える報道が続く。また、政治の局面においても、会心の当たりがなく、凡打の山が築かれていくようであり、国全体における人心の頹廃傾向も止まるところを知らないようである。

このような社会的状況の中で、想起される名著がオランダの歴史家ヨハン・ホイジンガ(一八七二～一九四五)の『中世の秋』である。若し頃、必要に迫られて手にした本であったが、たちまちその内容に引き込まれてしまい、その虜になった記憶がある。ホイジンガは、『中世の秋』第二章において、この書の全体構成を浮き彫りにする基本的な主題を述べている。内容を一言で言うと、人間生活において、人がより美しい生活を求めるために、三つの道を見いだしてきたというものである。

第一の道は、俗世放棄の道であり、この世を汚濁に満ちた苦難の世界と見なし、美しい彼岸に生きたいという宗教的情熱によって生きる道である。第二の道は、世界そのものの改良と完成を目指す道である。この第二の道が開けてきたのは十八世紀に入ってからであった。中世の人達は、この志向には思いが及ばず、ルネサ

ンスがその旺盛な人間の生の肯定を革命や革新が志されたのである。より美しい世界への第三の道は、「夢みる道」である。と述べている。つまり、この世の現実が、絶望的なまでに悲惨であり、現世放棄の道は険しい。せめて、見かけの美しさで生活を彩ろう。明るく理想の夢の国に遊ぼう、そして理想の魅力によって現実を中和しよう、というものである。今も昔も、私たちが日々生きる世界は、色褪せた空虚な社会が横たわっていることが多い。仮に一時期でも栄華を極めた国家や社会があったとしても、その往昔の栄光を忘れな

PTA講演会

11月27日(木)、「暮らしに役立つ放射線」という演題で、二年生向けのPTA講演会が開かれた。今回は講師として、株式会社環境浄化研究所代表取締役社長の須郷高信先生をお招きした。先生は、高分子化学・放射線化学の分野の権威で紫綬褒章を受章され、また時計用ボタン電池等多数の特許を世界各国で取得され、講演の中で先生は特に、「発想の転換」をこの大切さをお話された。

「筋肉質な人はスポーツ、そうじゃない人は科学で金儲け」というご自身の体験を基にしたユーモラスな表現を通して、不便を感じたらその不便を嘆くのではなく、視点を変えて物事を考えるところに道が開けるということを教えてくださった。また、高校で習う基礎的な化学や物理の知識であつても、大きな発明のもとになっているというお話しには大いに驚かされたが、それと同時に、日本は教育や情報の面で恵まれた部分もあるのだ、些細なことに目を向ける注意力や観察力、疑問を持ち続けて挑戦する情熱が、我々一人ひとりが大きな成果を上げるために必要なことなのだと思知らされた。さらに、多くの人をインフルエンザから守るマスクのアイデアや、海洋からレアメタルを取り出し資源の少ない日本を救うアイデアなど、私たちが「学び、考える」ことで世の中を変えていくことができるというメッセージを送ってくださった。

鶴丸生が大学でどのようなことを学ぶべきか、一つの指針をいただいた時間となった。『オナーリーワンになれる世界を制す。』

郷土を知る学習

12月12日(金)、一年生の恒例行事である「郷土を知る学習」が行なわれた。この行事は一年生8クラスがそれぞれクラスごとに計画を立てて、クラス交流をはかり、郷土を知る学習のしおりを作成するなど、周到な準備をして当日を迎えた。

この日は、暑い気候に恵まれた。各クラスそれぞれ目的の地へ向けてバスで出発した生徒たちは、充実した時間を過ごして、夕方無事帰着した。生徒からは、「これまで何度も通ったことがあった場所をクラスの皆と改めて訪問することにより、自分知らないことや、学ぶべきことがまだまだたくさんあるのだということ」がわかった。とか「友達の感想や質問からは、自分が思いつきもしなかった考えを聞くことができ、刺激を受けた。」という声などが聞かれた。鹿児島島の新たな魅力を見出すとともに、郷土の良さを発見するとともに、郷土の良さを過ごした一年生のこれからの学校生活をさらに充実したものとなることを期待したい。なお、学習報告会は26日に開かれる。

校内ダンス発表会

12月10日(水)、総合の時間を活用して第25回校内ダンス発表会が開かれた。この発表会に向けて二年生のダンス選択者全員が12のグループに分かれて、7月からおよそ半年をかけて作品を創り上げてきた。緊張の中、個性溢れるダンスを笑顔で一生懸命踊る姿に会場からは拍手や声援が送られた。舞台発表をした二年生からは「作品創りはとても難しく、大変だったけれど、ステージ上では笑顔で楽しく踊れた。達成感も大きく充実した発表会となった」という感想が聞かれた。ゼロから作品を創り、発表するという過程を通して、ダンスの楽しさを全身で感じただけでなく、積極的に意見を出し合うことを創る喜びなど、多くのことを学べたようだ。

職業選択フォーラム

12月20日(土)、鹿児島西ロータリークラブ主催の「職業選択フォーラム」が鹿児島県立鶴丸高等学校で実施された。本校からも一年生の希望者が参加した。文理選択をし、自分の将来について真剣に考える彼らにパネリストの方々の言葉が何よりの励みとなり、道標となったようだ。

1・2月の行事予定

1 月		冬 季 休 業 日
1	(木) 元日 初日の出の会	
2	金	
3	(土)	
4	(日)	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	(土)	
11	(日)	
12	(月)	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	(土)	
18	(日)	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	(土)	
25	(日)	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	(土)	
2 月		宅 習 時 間 調 査
1	(日)	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	(土)	
8	(日)	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	(土)	
15	(日)	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	(土)	
22	(日)	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	(土)	
29	(日)	
30	月	
31	火	

